

第2回庄原市学校適正配置検討委員会 議事録（概要）

平成28年7月4日（月）

13：45～14：50 永末小学校（学校視察）

15：10～16：32 本庁舎5階第2委員会室

【出席者】

（委員） 林委員（委員長）、藤谷委員（委員長職務代理者）、廣澤委員、定宗委員、藤崎委員、竹川委員、宮本委員、加藤委員、片岡委員、森永委員、井上委員、三上委員、堀江委員

（事務局） 牧原教育長、片山教育部長、山田教育総務課長、中重教育指導課長、宗綱総務係長、定光学校管理係長、荒平主任主事、加藤主任主事

〔傍聴者〕 2名（報道関係者）

（13：45～14：50 永末小学校の視察）

授業参観（計算タイム、5時限目授業）

（15：10 第2委員会室に移動して開会）

1 開会（委員長あいさつ・教育長あいさつ）

2 前回会議（H28.5.30開催・第1回）の議事録内容・公開の確認

- ・内容及び公開について確認
- ・次回より、会議内での内容確認は行わず、概要整理後、委員長確認にて公開する

3 意見交換

（1）学校視察について

議長 先ほど実施した学校視察について、「授業の様子」「単式学級・複式学級の比較」「子供の様子」等、委員から自由に感想等を出してもらい意見交換をしたい。

委員 今日視察した永末小学校について、児童の人数を考えると、この先ずっと複式学級となる学年の子がいるように見受けられ、そのように勉強が進んでいくのだと感じた。また、児童の人数が少ないためか、先生の教え方が丁寧過ぎるように見受けられた。児童の人数が多い場合、とてもあのような教え方はできない。

委員 私は今日、複式学級の授業を初めて見た。委員の皆さんに聞いてみたいのだが、昔複式学級で授業を受けた方はいらっしゃるか？（→委員4名挙手）よろしければ、その時の感想等を聞かせてもらえないか。

委員 私は複式学級で授業を受けた経験があるが、今日のように先生が別の学年を教える時間となった時でも、うまく対応できていたように思う。得意科目、苦手科目はあったが、グループ単位での勉強をよくやっていて、色々なことにみんなで取り組んでいた。複式学級は、2学年の準備をするなど教える先生は大変だろうが、工夫すれば単式と複式の学習内容にそんなに違いは生じないので

はないかと思う。

ただ、中学生になった時、いきなりクラスの人数が増えて大変びっくりした。複式学級での影響はどういう状況にあったのか不明な点はあるが、そんなになかったと思う。

委員 私は昔、3学年の複式というものを経験したことがある（1学級で3学年と一緒に授業を受ける）。違う学年の人と一緒に授業を受け、人数が多くて（実際には今の1学年分の子供はいなかったが）楽しかった記憶がある。その時は、特に違和感はなかった。

委員 私の子供が、小学校で児童数が1学年2名だけの時があった。児童が少ないため、PTAの役員をする機会も多くなるが、実情としてはその小学校が統合したとき、私の子供が通っていた学校の児童の方が、統合先の学校の児童よりしっかりしていたという印象を受けた。

私の子供の学校では、先生が児童の親代わりになって勉強を教えて、結果としてその先の進学にも好結果があった。社会に出ていった時に、その子がしっかりとやっつけていけるかということはあるが、小学校で1学年2名で過ごした子供達は、中学校に上がってからもしっかり頑張っている。

委員 私にとって、今日永末小学校で見た光景が、まさに日常のものだった。地元は、小学校をとてとても大事にされている。（授業の様子について、事前にリハーサルをしていたような感じも受けたが…。）

永末小学校の児童は、大半が美湯ハイツから通って来られて、地元である永末地域の子供たちが少なくなっている。同校で複式学級になるかどうかということは、美湯ハイツの状況次第というところがある。複式学級を十分想定してから取り組んでいるという校長先生の話だったが、難しい側面があると感じた。

委員 授業の中で子供の思考が止まったときに、担任の先生がうまくサポートできるかというのがポイントだと思う。複式学級では、そこがサポートしきれないケースがあるのかと思われる。

今日実際に授業を見ていて、子供たちは本当によく頑張っていた。子供たちに手を差し伸べる必要があるときに、うまくサポートできる先生の力が必要だ。

委員 今日は、参観者の前でうまく頑張っている子供たちの姿があった。

委員 今日視察した学校規模の中で、どういう対応があるのかという観点で見ると、2年生は4人しかいないが、1年生の人数と併せると複式学級とならない（※1年生を含めた複式学級は8名以内で構成するため）。一方で5・6年の複式学級は16人と、規定の上限ギリギリの人数となっている。たった1人違うだけで、児童の授業環境は大きく変わってくる。

複式学級が、「1学級2教室」になっていないだろうか。これが1教室としてまとまりが生まれてくると、児童の思考が止まった時に児童同士でフォローし合う等、複式学級の良さが生きてくるのではないか。

委員 今日実際に見てきたことだけで判断するのではなく、いろんな視点等から学校規模や配置が検討されていないといけない。子供たち同士の関わりを、先生がどう生み出していくのかということが大切。「子供と先生」ではなく、子供同士の学びが大切で、もっと子供たちの机を近くに近づけて、みんなで学べば良いのにとすることもあった。

(2)資料説明等

(事務局より資料2-4について説明)

議長 今回の説明について、何か質問や意見等はあるか。

委員 教育振興基本計画について、5年計画ということだが、これはもうこの計画に沿って進行しているということか？

事務局 今年度から本計画に基づき施策や事業を推進している。

委員 市の施策として、「ひと・まち・しごと」といった、地方創生の観点を加味されているのか？

事務局 市の施策全体では、教育委員会以外の部署も関係することだが、本計画には教育にマッチしているものを取り上げている。特に人材育成には重点を置いている。

事務局 補足だが、新学習指導要領が平成32年度より改定される予定である。これに向け、平成30年度からは移行作業が始まる。そのための準備を進めているところである。

委員 これら各計画の内容をよく読んで、今後の議論に生かしたい。

(事務局より資料5-8について説明)

議長 今回の説明について、何か質問や意見等はあるか。

(意見・質疑なし)

(事務局より資料9について説明)

議長 今回の説明について、何か質問や意見等はあるか。

委員 資料9については、誰が回答したものか？既に廃校となった学校もあり、内容を見たところ、統合先の学校の意見が強いように見受けられるが。

また、資料9について外部への配布は可能か？民生委員として、地域の方へ声をつなぐ役割があると思っている。

事務局 資料9は、広島県の担当者会議で意見交流をするときに活用した資料である。本日の会議の参考として配布したものであり、外部配布は遠慮して欲しい。

なお、この調査は、統合から1年が経過した際に統合先の学校を対象に行ったものである。

議長 資料9は、広島県教委の内部資料ということで、他者への公表は行わないということによろしいか？

事務局 そのとおりとしていただきたい。なお、本資料は前回の会議で委員より要望があったため提供した。

議長 ここに掲載されている、学校統廃合によって生じた課題が、できるだけ少なくなるような整理の仕方をしないといけない。委員の皆様方には、参考資料として見ていただきたい。

議長 これまでの学校視察や資料内容に係る意見交換等も含め、意見・質疑あるか。

(意見・質疑なし)

4 その他

- ・ 第3回検討委員会の開催日時等について
平成28年8月8日(月) 9:30開始に決定
- ・ 準備資料について

委員 これまで提供いただいた資料で、各学校の校舎等の面積や構造等は分かったが、冷房やトイレ等、設備面の状況が分からないので、次回の資料として提供をお願いしたい。

事務局 冷房については、中学校では昨年度までに普通教室に全校設置した。小学校では、保健室には全校設置しているものの、普通教室では改築した新しい学校のみとなっている。
各校の設備面をまとめた資料については、次回用意する。

議長 その他、何か質問や意見等はあるか。

(意見・質疑なし)

(16:32 終了)